

教会だより

〒400-0032 山梨県甲府市中央2-7-10
Tel 055-237-2531 Fax 055-237-2507
<http://catholic-kofu.com>
発行 甲府カトリック教会広報委員会

神父のつぶやき

カトリック甲府・塩山教会
主任司祭 白木 信一

2020年、令和2年が始まった。昨年は教皇様の来日があり、日本の教会を元気付けて下さったと思う。教皇様の来日に際し、メディアがいろいろとニュースに取り上げてくれたお蔭で、多くの方々が興味をもたれたようであった。来日後、教皇様の言葉に感動したというご婦人から、教皇様が聖書を読むよう言われていたのでそうしたいのだが、甲府カトリック教会までは遠くて行けないのでどうしたらよいか、との問い合わせがあった。この方のように、教会にあるいはキリスト教に関心を持つ方々が、教会に来られるようになったときのため、教会がきちんとした対応ができるように求められるのかもしれない。それほど沢山の方が影響を受けるようになっていけば良いのだが ---。

今回の訪問の報道について、38年前に聖ヨハネ・パウロ二世教皇様が来日された際と違う点があった。それは、前は「ローマ法王」の名称が使われていたのだが、今回は「法王」ではなく「教皇」という名称が使われていた。我々信徒にとっては「ローマ法王」の名称に馴染みがないので、「教皇」の名称で報道されていたことについては心地よかった。日本の中でキリスト教はマイナーな教団だが、世界的には超メジャー教団であることを、日本は38年前よりも認識するようになったのかなと感じた。

ところで、南米から初の教皇様が誕生した背景には、ヨーロッパでの教会離れがあると言われている。そして、教会内の様々な問題がある中で、教会を立て直すようにとの使命を受けたアシジの聖フランシスコを教皇の名称に選び、フランシスコ教皇様はそれをご自分の使命として取り組んでおられる。教会離れについてはヨーロッパだけのことではなく、日本においても同様の状況がある。そういう中で、フランシスコ教皇様が来日して下さったことの意味は大きかったと言えよう。

何を「教会離れ」というのか正確には分からないが、ただ単に主日のミサに来ないというだけのことなのだろうか。私は、根っこはもっと違うところにあるような気がする。一つには、日常生活において神さまを必要としなくなった、ということではないかと思うのである。「苦しいときの神頼み」という表現があるように、日常的には必要性がないということなのだろうと思う。

そこにはよく言われる「信仰の喜び」は、あまり追い求められていないと思う。「信仰の喜び」を味わうことができなければ、次第に教会を離れていくことになってくるのではないか。聖パウロは「主に結ばれた者として、いつも喜びなさい。重ねて言います。喜びなさい。」(フィリピ 4:4)と強調している。主に結ばれた者として真にいつも喜びを味わうためには、キリストが残された教会抜きには実現できない。主に結ばれた者としての信仰生活が、日常生活となっていく一年になればと願うところである。

お知らせ(1月)

1. 世界こども助け合いの日（指定献金日）

1月26日は、「世界こども助け合い」の日です。

この祈願日は、子どもたちが使徒職に目覚め、思いやりのある人間に成長することを願って制定されました。この日は子どもたちが自分たちの幸せだけでなく世界中の子どもたちの幸せを願い、そのために祈り、犠牲や献金をささげます。

この日の献金は全世界からローマ教皇庁に送られ、世界各地の恵まれない子どもたちのために使われます。

当教会でも当日、中高生会・教会学校のお友達がミサの前に聖堂入口で子どもたちだけでなく一般の皆さまにも献金を呼びかけ、ミサの中で奉納されます。

ご協力をお願い致します。

2. 帰天

12月17日 百瀬ひろし様のご令室ひろ子様（58歳）がご逝去されました。

ご葬儀は、当教会聖堂で12月21日に執り行われました。

ご夫君とご遺族の皆様のご悲しみを想い、また 故人の御国での平安をお祈り致します。

3. 転入

小野栄様(洗礼名 ミカエル)が12月に長崎県佐世保教会より転入されました。

北ブロックに所属します。どうぞよろしくお願い致します。

4. 読書会

「キリスト教信仰のエッセンスを学ぶ」（横浜教区司祭 小笠原優神父様著）第3回を行います。

皆さん、一緒に、この著書の副題「より善く生きるための希望の道しるべ」について学び、分かち合いませんか

- ・読書会の開催日時

1月14日（火）16時より17時30分

- ・場所

甲府教会センター1F ホール

5. 2020年 教会一致新年連夜祈祷会

2020年キリスト教一致祈祷週間テーマ

「人々は大変親切にしてくれた」

(1)開催日と会場

開始時間 第1夜～第5夜：19時30分、 第6夜：18時

回	日(曜日)(1月)	会場	備考
第1夜	21日(火)	日本基督改革派 山梨栄光教会	
第2夜	22日(水)	日本基督教団 南甲府教会	
第3夜	23日(木)	日本アッセンブリーズ・オブ・ゴット 教団 甲府教会	
第4夜	24日(金)	日本聖公会 甲府オーガスチン教会	
第5話	25日(土)	山梨YMCA	
第6夜	26日(日)	カトリック甲府教会	祈祷会后：愛餐会

・第6夜は、祈祷会后 サンタルチア講堂で愛餐会（食事会）がありますので参加される方は、お弁当をご持参ください。

・当日の準備（味噌汁づくりや会場設営等）にお手伝い頂ける方は、15時にご集合下さい。

・駐車場は、教会庭と西側駐車場です。満車の場合は、各自で近隣有料駐車場をお借りする等お手配をお願い致します。

6. 2020年通常徒大会

2020年の通常信徒大会を2月2日(日)主日のミサの終了後、聖堂で行います。

信徒大会は、小教区共同体の運営に対して、教会委員会からの報告等に基づき、信徒の皆様のご意見をお伺いし、教会委員会で審議し、皆様のご意見を反映させより良い共同体運営のための大事な会議です。

信徒の皆様におかれましては、万障お繰り合わせの上、ご出席くださいますようお願い申し上げます。（別ページ 招集通知 参照）

7. 教会役員の改選について

教会役員の改選を行います。

旧役員等（各ブロック長、各外国籍グループ長、常任委員長等）には、新役員選出とその提出を1月19日（日）までをお願いしてありますが、共同体運営が信徒**全員**の総意と参加により行われるようにするために、信徒の皆様には、ブロック会議、常任委員会等の新役員等選出の会議が招集された場合には、万障お繰り合わせの上、ご参加下さいますようお願い致します。

8. 関係団体などからのお知らせ

(1) NPO法人 やまなしライフサポート

①炊出し

新年は1月2日(木)中止し、1月9日(木)から開始します。

②理事会・拡大運営委員会合同会議

1月24日(金) 19時より、サンタルチア講堂で行います。

(2) NPO法人こどもサポートやまなし

①運営委員会

1月21日(火)18時30分より、センター1Fホールで行います。

②新入管法研修会

2019年4月から新しい入国管理法が始まっています。

介護、農業、建設等働く人が足りなくて困っている仕事に限って外国人労働者

を増やそうというものですが、まだよくわからないことが沢山ありますので次

の通り研修会を行います。

特に日本で働いておられる又は働こうとしている外国籍の方及び外国籍の方の

サポートをしている方には必要な研修会ですので

是非ご参加下さるようお願い致します。

・日時 2020年1月18日(土)午後2時から5時

・場所 カトリック甲府教会 サンタルチア講堂

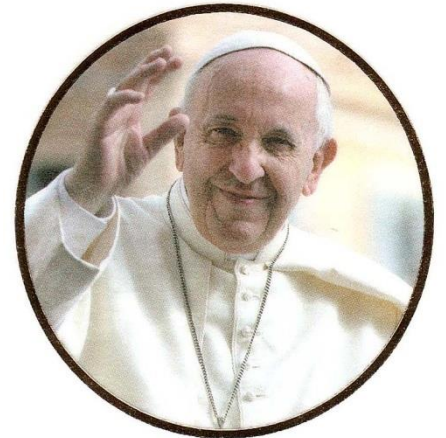
・講師 弁護士 児玉晃一様

③学習会

今月の学習会は、1月12日(日)及び1月26日(日)の13時30分より山梨カトリック福祉センターで行います。

✠ 教皇フランシスコ ミサ（11月25日：東京ドーム）

みなさんに感想をお聞きしました。



- * ミサはすごい熱気でした。
- * パパ様の人々との交わりの姿に感激しました。
- * あの人の胸に飛び込む雪の服
- * 大きな手われの手握る白い笑み
- * 侍者の李くんを見て、涙が出ました。
- * 外国の人が多いのびびっくり。
- * 5万人と共に祈ることが出来てうれしかった
- * 聖体拝領が、ミサの後だったので、ちょっとがっかりした。
- * 説教の翻訳した文字が見えなくて残念だった。
- * 金属探知機に3回も反応して、ようやくミサに参加できました。
- * とても感激しました。その感激を父兄にも伝えました。
- * すごいお恵みだと思った。
- * パパ様、かわいかった。
- * パパ様が来て下さるということは、これほどまでに喜ばしいことだと改めて実感した。
- * 家族で参加できたことで、信仰に勇気と希望をいただきました。
- * パパ様を通して、私たちは、国・時間を越えて使徒とつながり、イエス様につながるのだと実感し、深く感動した。
- * 教皇様のミサに、大きなしあわせと平和、天国の一部をこの地球に感じました。
- * 忘れられない日になりました。教皇さまが現れた時、座っていられなかった。上からおりて、1メートルの距離まで近づきました。まるで聖書のザアカイになったような気持ちになりました。スペイン語で話されたことが、とてもよかった。
- * 教皇様にお会いして、2000年の歴史を感じさせてくれました。イエス様とペトロの出会いのように。すばらしかったです。ありがとう。

パパ様のミサへ行ってきました（塩山教会）

2019年11月25日、塩山からバスで東京ドームへパパ様のミサへ行きました。
帰りのバスで数名の方から短い感想を聞きました。
話された内容と下記の文に違っているところがありましたらご容赦ください。

人が大勢ですごかった・・・土橋さん

たくさん的人数で勇気がわきました・・・津島さん

スペイン語もポルトガル語もあってよかった・・・飯島さん

塩山の信者みんなで来ることができてよかった・・・SR.柴原

すごく感動しました。音楽がよかった・・・田口さん

パパ様に会えてよかった。大勢でしたが厳かな雰囲気です晴らしかった・・・小沢さん

教皇様が出てこられたときにワクワクした。
説教の字幕が読みにくかったのは残念だった・・・後藤さん

庶民的でやさしかった・・・米山さん

パパ様をじかに見ることができて感動した・・・稲田さん

パパ様を近くで見ることができてよかった。バスに誘ってもらってよかった・・・佐藤さん

感激しました。パパ様の足を引きずる姿がイエス様と重なって感動した・・・内田さん

聖歌隊の歌がすばらしかった。涙がでてきた・・・保延さん

今、南スーダンでは、何が起こっているのか？



12月8日（日）集会祭儀後聖堂にて、南スーダンで宣教に携わっておられる、イエスのカリタス修道女会の、マリアボスコ下崎優子シスターに、南スーダンでの活動の様子を、映像とお話でうかがう貴重な機会に恵まれました。当日は、40名もの方々が参加して下さいました。

聖堂でのお話の後、わかち合いの時間がセンターで持たれ、シスターへの質問に、一つ一つ丁寧に答え下さいました。また、シスターたちと一緒に活動なさっておられた自衛隊の方のお話も聞くことができ、自衛隊のみなさんの働きが、現地で高く評価されていることも、知ることができました。

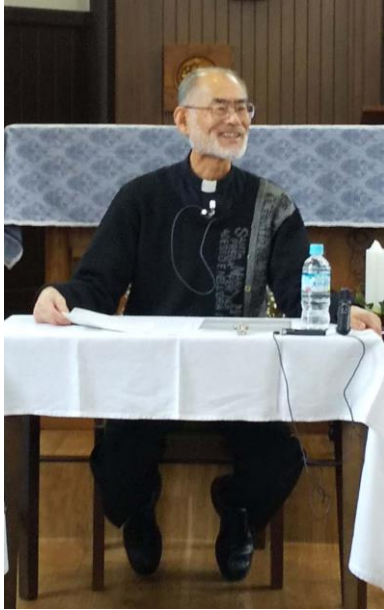
死を覚悟なさるような体験もなさり、大変なご苦労がোধありでしょうに、こともなげに、明るく語られるシスターの姿に、同じキリスト者として、とても誇りに思えた時間でした。

シスターは、来年の2月に、再び南スーダンに戻られるそうです。少しでもお役に立てますように、当日みなさまからいただいた献金と、宮澤農園からの献金、合わせて36,000円を、シスターにお渡しいたしました。

教皇フランシスコも、是非南スーダンを訪問なされたいとの希望がোধありだそうですが、治安の問題があり、なかなか実現は難しいそうです。南スーダンで、今も大変な生活を強いられている人たち、Sr.下崎や南スーダンで宣教に携わっておられる多くの方々のために、お祈りいたしましょう。

待降節黙想会に参加して

山下ルシアきよこ



小田神父様は、私にとって、とても興味深い神父様でした。

人の道は、わからないものですね。私たちの道は、神さまが、それぞれ作っていると思います。神の愛に答えて歩むとわかるのです。

小田神父様は、落ち着きのない子どもでした。クラスでじっとしていない子でした。先生に大変な思いをさせていました。ある日、何になりたいか作文を書くことになりました。自分は、トイレのくみ取り屋さんになりたいと書きました。先生は、ふざけていると思って、神父様のおかあさんが学校に呼ばれました。そのあと家に帰ると、お

母さんが、「なんでくみ取り屋さんになりたいの?」と聞くと、神父様は、「役に立つ人になりたいから」と答えました。それは、自分がトイレに入っていた時のことです。くみ取り屋さんがくみ取りを始めた。すごい勢いでトイレの中からすくわれている音が聞こえました。そこで感動した。この人たちがいるから、自分はいつもきれいなトイレを使えるんだ。自分も役に立つ人になりたいと思ったのです。神父様は、トイレをすくう、くみ取り屋さんにはならなかったけれど、人を救う仕事人になっていると思います

私たちの日常生活の生き方に対して、とても役に立つことを、教えてくださいました。私たちは、生きたイエス・キリストをいただいています。それが豊かに実ることをしないとイケないのです。

ミサはコンサートではない。私たちも参加者の一人です。見ているだけではない。イエスさまと共に歩むのです。そして、目に見えるかたちにしていくのです。ミサに来るときには、準備が必要です。ただそのまま来るのではなく、その日の朗読や、答唱詩編、福音を読んで来るのです。全部つながっています。その日のみことばに、共同祈願も関係あります。聖体拝領の前の準備もあります。朗読は神のことばの食卓。聖体はイエス・キリストの食卓。神のことばをいただいて、生かしていかなければならない。

神さまは、みんなを愛しているから、私たちにイエス様を送ってくださった。イエスさまは、いつも聖体にいます。大きな愛のしるしとして。

✠キリストと共に

マリア 戸澤 仲子

私は、昭和14年6月に葦崎で生まれました。実家は農家で、その頃は、どこの家の子もそうであったように、私も家の手伝いをよくしていました。

葦崎高校を卒業すると、洋裁が好きでしたから、葦崎にあったドレメの洋裁学校に5年間くらい通いました。まだまだ布の無い時代でしたから、母の着物をほどいてブラウスにしたり、帯をほどいてスラックスにしたり、今でいうリフォームをよくしていました。学校を卒業してからは、甲府の婦人服を作る店で働き始めました。16人くらいの女性だけの職場でした。2日で1着仕上げなければならぬので、大変でしたが、家に持ち帰ったりしながら、何とか頑張りました。今思えば、若かったから出来たのでしょうね。

私たちの店の向かい側に、紳士服の「戸澤洋服店」がありました。どういふきっかけがあったかは、覚えてはいないのですが、その店の次男の方と知り合い、お付き合いが始まり、結婚することとなりました。結婚するにあたって、御姑さんから、カトリックの信者になってほしい、との申し出がありました。仏教のお寺さんしか知りませんでしたから、それがどういふことなのかわからないまま、その頃甲府の教会にいらしたチェリザ神父様に、1年間くらい勉強をみてもらい、洗礼を受けることになりました。勉強は、難しかったのを覚えています。洗礼は、夫のお父さんも一緒でした。結婚式は甲府の教会で挙げました。今のようにドレスでは無く、文金高島田を結って、着物でした。

そんな幸せな私の結婚生活は、夫のくも膜下出血での突然の死で、短い時間で終わってしまいました。私と幼い息子を残して、夫は天国へと旅立ってしまったのです。私は、ただただ泣いて暮らしました。実家の両親や、妹に支えられ、何とか立ち上がり、婦人服の店を始めることにしました。仕事は順調に進み、息子は、教会の幼稚園に通いました。私もミサに参加し、息子も侍者をさせてもらったりもしていました。そんなある日、シスターに誘われ、修道院の老人施設で働くことになりました。最初は厨房でしたが、その内に、お年寄りのめんどうをみたいと介護の仕事に替わりました。たくさんのシスターたちとも知り合いになり、とても楽しく、充実した時間を、35年間過ごさせていただきました。本当に感謝です。今は、健康のためにウォーキングやラジオ体操をしています。家では編み物や手仕事も好きでしています。

教会があったから、今の私があることを、しみじみと感じています。振り返れば、教会との出会いを作ってくれた夫にも感謝です。何もお手伝いできませんが、これからもよろしく願いいたします。 (聞き書き 宮澤)

✠ 今月の典礼奉仕表（1月） ✠

日	第一朗読	第二朗読	共同祈願奉仕	聖堂案内
1月 5日	シキナ・アンドレ	デラクルズ・エイシャ	今井（勇）	今津
12日	遠藤	広瀬	御荘	池田
19日	山田	宮澤	芦沢	芦沢（マ）
26日	池田	志村	今井（久）	木村
2月2日	川村 英二	窪田 ひでき	御荘	大井

✠ 今月のこよみ（教会暦・行事等） ✠

- ・主日のミサ 日曜日10:30～
- ・平日のミサ 火・金・土曜日06:50～（但し初金のミサ 9:30～）

1月 1日（水）	神の母聖マリア	10:30 ～	ミサ
5日（日）	主の公現	10:30 ～	ミサ
12日（日）	主の洗礼	10:30 ～	ミサ
		15:00 ～	ポルトガル語ミサ（Português）
19日（日）	年間第2主日	10:30 ～	ミサ
		12:30 ～	韓国語ミサ（한글）
		15:00 ～	英語ミサ（English）
26日（日）	年間第3主日	10:30 ～	ミサ
2月 2日（日）	主の奉献	10:30 ～	ミサ

※ 1月の3日（金）・4日（土）・7日（火）・14日（火）・28日（火）の早朝ミサは、お休みです。

清掃当番表（1月、2月 各ブロック・各グループ輪番制）

1月 11日（土）	西・峡西ブロック	2月 1日（土）	東・南ブロック
1月 12日（日）	ブラジルグループ	2月 8日（土）	中央・北ブロック
1月 19日（日）	韓国・フィリピングループ	2月 9日（日）	ブラジルグループ
1月 25日（土）	山城・峡南グループ	2月 16日（日）	韓国・フィリピングループ